

字音形態素「サン(山)」を後部成素とする 派生語の連濁について

鈴木 豊*

[キーワード] 漢語の連濁 連濁率 非連濁規則 連濁要因 前部成素末の濁音

[要旨] 連濁現象に関するもっとも基本的な制約に、「漢語は連濁しない」という語種を分類基準としたものがある。この制約には例外が多く、中には和語と同等の連濁率を示す漢語も存在する。小論では高連濁率の要因を探るために字音形態素「サン(山)」を選び、これを後部成素とする派生語の連濁について『日本国語大辞典 第2版』収録語を主たる資料として考察した。その結果、「サン(山)」の連濁／非連濁は固有名詞(山名)が非連濁、固有名詞(人名)・普通名詞が連濁という分布となっていることが明らかとなった。連濁要因として「サン(山)」が古い時代から多くの派生語を生み出してきた「馴染み度」の高い語であることが考えられる。普通名詞が連濁形、固有名詞(山名)が非連濁形という区別は『日葡辞書』などにも見られるので古くから行われていたものと推測される。固有名詞(山名)では非連濁形が一般的だが、例外的に前部成素末が撥音と母音である場合には連濁形をとることが多い。それとは反対に前部成素末が濁音である場合は連濁形をとることが少ないが、これは前部成素末濁音の非連濁効果によると解釈される。

1. はじめに

一般に漢語(「サン(山)」などの字音形態素を含む)は和語に比べると連濁することが少なく、字音形態素の場合は連濁率(その語を後部成素とする派生語の連濁形総数÷派生語総数×100)が0%の語も多く存在する。その理由として和語の連濁が複合にさいして特別な理由がなくても生じる形態論的連濁であるのに対して、漢語のそれは撥音や母音の後という音声的環境で生じる現象であるためと考えられる。一方で漢語であっても形態論的連濁をとるものもあり、中には和語と同等の連濁率を示す語も存在する。その中であって「サン(山)」(『日本国語大辞典 第2版』(以下『日国2』と略称する)では「字音語素」とする。他に「漢語系接(尾)辞」「接

* 教授／日本語学

辞的造語成分」の呼称も用いられる)を後部成素とする派生語は約600語と多く、かつその3分の2が連濁形をとっており、連濁率は和語並みに高い。小論では「サン(山)」を後部成素とする派生語の連濁／非連濁はどのような要因によって決定されているのかを、多方面から分析を加えることによって明らかにしたい。

2. 目的と方法

小論の目的は一般的には非連濁形をとる字音形態素が連濁形をとるのはどのような理由によるのかを明らかにすることにある。とくにその連濁要因が明確ではない語の代表として「サン(山)」を後部成素とする派生語についてとりあげ、詳しく検討することにする。

研究方法として以下の三段階の手順をとった。

- (1) 字音形態素の連濁率を明らかにする。
- (2) 連濁率の高い字音形態素についてその理由を明らかにする。
- (3) 「サン(山)」を後部成素とする派生語の連濁／非連濁の要因について分析する。

考察に必要なデータはウェブ上の辞書検索サイト JapanKnowledge (<http://www.japanknowledge.com>) 所載の『日国2』で「詳細検索」機能を利用して作成した。「サン(山)」「ザン(山)」については『日国2』に加えて JapanKnowledge 所載『日本歴史地名体系』についてもデータ化を行った。このデータをもとに連濁率の高い語について、音声的環境としてまず撥音後の濁音化(=PNV[Post Nasal Voicing])が見られるかを調査し、次に前部成素末の特定音節(とくに濁音)が非連濁の要因となっているかどうかについて検証した。そのうえで音声学的要因によらない文法的区別や語彙的区別が存在するかどうかについて調査した。

3. 連濁率

連濁は語種との関係が非常に強く、一般に和語はよく連濁するのに対して漢語は連濁することが少なく、外来語はほぼまったく連濁しない。連濁現象にはこのような語種による制約がたしかに存在しているにもかかわらず、その例外となる語もまた多く存在する。鈴木豊(2012)は4拍以上の多拍語の連濁について、一般的には連濁率が低い漢語の中であって、多くの複合語がありかつ連濁率が高い語として「ホウコウ(奉公)」「サンマイ(三昧)」「ヒャクショウ(百姓)」「トウロウ(灯籠)」「タイショウ(大将)」「チョウチン(提灯)」「テッポウ(鉄砲)」などが存在することを明らかにし、「馴染み度」の高さが連濁形をとる理由であると考えた。3拍語について複合語数100以上かつ連濁率が80%以上の語をあげれば「カイシャ(会社)」「コウシ(格子)」「サイク(細工)」「タイコ(太鼓)」「タンス(箆簞)」「トウフ(豆腐)」「フトン(布団)」となり、これらはやはり古くから使用されてきた「馴染み度」の高いものばかりである。

表 1 字音形態素の連濁率

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	しゃ	者	1	219	2008		2227	10%
2	し	子	1	276	1842		2118	13%
3	し	師	1	38	1165		1203	3%
4	しょ	所	1	351	783		1134	31%
5	か	家	1	5	820		825	1%
6	は	派	1	0	633	24	657	0%
7	き	記	1	1	558		559	0%
8	し	士	1	60	461		521	12%
9	し	紙	1	1	492		493	0%
10	か	化	1	0	458		458	0%
11	く	句	1	2	368		370	1%
12	し	使	1	0	333		333	0%
13	け	家	1	18	304		322	6%
14	ちゃ	茶	1	0	310		310	0%
15	か	歌	1	73	233		306	24%
16	ふ	布	1	77	132	63	272	28%
17	そ	素	1	0	270		270	0%
18	ち	知	1	6	218		224	3%
19	し	死	1	17	189		206	8%
20	し	詞	1	10	189		199	5%
21	ふ	婦	1	14	139	40	193	7%
22	は	波	1	14	139	37	190	7%
23	ひ	費	1	0	170	20	190	0%
24	か	火	1	1	183		184	1%
25	こ	湖	1	1	166		167	1%
26	ふ	符	1	2	86	74	162	1%
27	し	志	1	2	147		149	1%
28	し	詩	1	0	144		144	0%
29	せ	世	1	21	123		144	15%
30	く	区	1	0	140		140	0%
31	ひ	皮	1	2	94	42	138	1%
32	こ	古	1	11	123		134	8%
33	し	氏	1	61	73		134	46%
34	た	多	1	32	101		133	24%
35	さ	差	1	1	116		117	1%
36	く	苦	1	0	110		110	0%
37	ほ	歩	1	0	64	43	107	0%
38	し	資	1	0	103		103	0%
39	ほう	法	2	50	1770	234	2054	2%
40	きん	金	2	21	1009		1030	2%
41	そう	草	2	19	816		835	2%
42	たい	体	2	5	775		780	1%
43	しん	心	2	42	719		761	6%
44	せん	線	2	0	716		716	0%
45	しき	式	2	0	682		682	0%
46	かん	官	2	21	595		616	3%
47	せい	性	2	1	606		607	0%
48	さん	山	2	399	206		605	66%
49	こく	国	2	34	562		596	6%
50	ほん	本	2	221	304	70	595	37%
51	せつ	説	2	24	555		579	4%
52	すい	水	2	20	558		578	3%
53	けん	権	2	0	535		535	0%
54	せん	船	2	0	462		462	0%
55	てん	点	2	6	445		451	1%
56	てん	天	2	8	423		431	2%
57	しん	神	2	253	169		422	60%
58	しゅう	集	2	9	411		420	2%
59	しゅう	衆	2	1	404		405	0%
60	たん	譚	2	83	312		395	21%
61	さく	作	2	0	385		385	0%
62	ひん	品	2	0	331	32	363	0%
63	はん	判	2	216	109	36	361	60%
64	せい	制	2	1	357		358	0%
65	そう	僧	2	47	268		315	15%
66	ふく	服	2	27	234	50	311	9%
67	しつ	質	2	0	310		310	0%
68	せん	戦	2	0	296		296	0%
69	へい	兵	2	0	286	55	291	0%
70	たい	帯	2	0	237		287	0%
71	はん	板	2	199	39	31	269	74%
72	かん	管	2	0	264		264	0%
73	けん	見	2	11	253		264	4%
74	さい	祭	2	0	263		263	0%
75	そく	足	2	10	251		261	4%
76	せん	泉	2	2	255		257	1%

	A	B	C	D	E	F	G	H
77	そう	相	2	4	253		257	2%
78	かん	館	2	0	256		256	0%
79	せい	声	2	2	247		249	1%
80	きく	菊	2	213	27		240	89%
81	ほう	方	2	15	159	63	237	6%
82	かん	感	2	0	235		235	0%
83	しん	身	2	27	207		234	12%
84	かん	間	2	0	231		231	0%
85	さん	算	2	87	144		231	38%
86	ほう	報	2	1	155	75	231	0%
87	はん	版	2	141	62	25	228	62%
88	ひつ	筆	2	0	170	58	228	0%
89	かん	観	2	5	220		225	2%
90	とう	党	2	3	219		222	1%
91	しゅく	宿	2	19	201		220	9%
92	はち	鉢	2	185	28	6	219	84%
93	けん	券	2	0	217		217	0%
94	せい	勢	2	66	147		213	31%
95	けん	件	2	0	208		208	0%
96	つう	通	2	15	190		205	7%
97	とく	得	2	19	180		199	10%
98	しょう	章	2	2	194		196	1%
99	さつ	札	2	0	195		195	0%
100	しん	信	2	2	191		193	1%
101	しん	進	2	32	160		192	17%
102	たい	隊	2	0	192		192	0%
103	ひょう	表	2	0	166	16	182	0%
104	さい	才	2	22	159		181	12%
105	しき	識	2	0	180		180	0%
106	さん	酸	2	0	177		177	0%
107	てん	典	2	7	163		170	4%
108	はく	白	2	3	118	48	169	2%
109	さん	散	2	5	158		163	3%
110	さく	策	2	1	161		162	1%
111	はつ	発	2	0	121	41	162	0%
112	そく	束	2	89	71		160	56%
113	せき	席	2	0	159		159	0%
114	せき	席	2	0	159		159	0%
115	せい	成	2	5	146		151	3%
116	ほう	宝	2	31	89	30	150	21%
117	さい	葉	2	12	133		145	8%
118	たつ	達	2	18	125		143	13%
119	てん	店	2	0	143		143	0%
120	たん	丹	2	1	141		142	1%
121	けん	険	2	0	141		141	0%
122	そう	想	2	3	138		141	2%
123	そう	層	2	0	139		139	0%
124	はん	犯	2	0	130	8	138	0%
125	へえ	兵衛	2	118	16	2	136	87%
126	たい	態	2	4	131		135	3%
127	とう	刀	2	2	130		132	2%
128	てつ	鉄	2	0	131		131	0%
129	けん	剣	2	0	129		129	0%
130	へい	平	2	13	88	28	129	10%
131	へん	変	2	2	114	12	128	2%
132	ちん	賃	2	0	125		125	0%
133	たん	談	2	13	111		124	10%
134	はい	杯	2	8	64	52	124	6%
135	ちく	竹	2	0	122		122	0%
136	せん	仙	2	3	118		121	2%
137	てん	転	2	2	119		121	2%
138	しき	色	2	16	104		120	13%
139	せき	籍	2	1	119		120	1%
140	ぞん	損	2	33	86		119	28%
141	きん	菌	2	0	118		118	0%
142	へん	辺	2	2	82	30	114	2%
143	こう	向	2	2	110		112	2%
144	さい	歳	2	31	77		108	29%
145	はつ	髪	2	0	77	31	108	0%
146	はん	飯	2	10	85	13	108	9%
147	そん	尊	2	29	78		107	27%
148	そう	走	2	0	106		106	0%
149	はち	八	2	0	77	29	106	0%
150	しん	真	2	3	102		105	3%
151	ふく	福	2	5	84	15	104	5%
152	たん	端	2	0	101		101	0%

表1は字音形態素のうち派生語数の合計が100語以上の語のリストである。表の各欄の内容は以下のとおりである。

- A：見出し語
- B：漢字表記
- C：拍数
- D：連濁形をとる派生語数
- E：非連濁形をとる派生語数
- F：半濁音形をとる派生語数
- G：DEの合計（ハ行を頭音とする語のみDEFの合計）
- H：連濁率（ $D \div G \times 100$ ）

配列はC拍数（昇順）・G合計（昇順）によっている。これらの語のうち1拍語38語中連濁率が10%以下の語は25語、2拍語105語中連濁率が10%以下の語は84語であり、全体として漢語の連濁率が和語に比べて非常に低いことがしられる。他方連濁率が高い語は1拍語では「シ（氏）」「ショ（所）」「フ（布）」「タ（多）」「カ（歌）」などがあるが、連濁率が50%以下であること、形態論的連濁が見られるのは「ショ（所）」（「ガッシュクジョ（合宿所）」「ハシュツジョ（派出所）」など）のみであることから特に考察の対象とすべきものは見えない。これに対して2拍語では連濁率が50%を超える語として「キク（菊）」「ヘエ（兵衛）」「ハチ（鉢）」「ハン（板）」「サン（山）」「ハン（版）」「シン（神）」「ハン（判）」「ソク（束）」があるが、呉音形「ジン（神）」をもつ「シン（神）」と「～ショウゾク（装束）」が多数を占める「ソク（束）」以外の7語については和語的な形態論的連濁が認められる。

4. 連濁要因の分析

4.1 「サン（山）」を後部成素とする複合語一覧

表2は「サン（山）」「セン（山）」を後部成素とする派生語一覧で考察の基礎資料となるものである。なお、「あきの月山（がっさん）」「あた仰山（ぎょうさん）」「ここの開山（かいさん）」「さん〔字音語素〕」「さん」「びんぼう子沢山（こだくさん）」「びんぼうにんの子沢山（こだくさん）」「りちぎものの子沢山（こだくさん）」の8項目は表から除いた。表の各欄の内容は以下のとおりである。

- A：見出し語
- B：漢字表記
- C：前部成素の拍数（「-こうざん」の類は2拍と数えた）
- D：前部成素末拍の仮名
- E：前部成素中の濁音の位置（後部成素頭から遡って数えた拍数）

F：後部成素語形

G：語分類 普＝普通名詞・山＝固有名詞（山名）・人＝固有名詞（人名）

配列（ソート順）は以下のとおりである。

- (1) F後部成素別 : 「サン」・「ザン」・「セン」・「ゼン」
- (2) G語分類 : 普通名詞・固有名詞（人名）・固有名詞（山名）
- (3) E濁音位置 : （後部成素頭から遡って数えた拍数）
- (4) C前部成素末拍数：昇順
- (5) A見出し : 五十音順

表2 「サン(山)」を後部成素とする派生語一覧

	A	B	C	D	E	F	G		A	B	C	D	E	F	G
1	あま - ごさん	尼五山	1	ご	1	さん	山	42	がっ - さん	月山	2	っ	2	さん	山
2	あまでら - ごさん	尼寺五山	1	ご	1	さん	山	43	がっ - さん	合山	2	っ	2	さん	山
3	かまくら - ごさん	鎌倉五山	1	ご	1	さん	山	44	ぼん - さん	盆山	2	ん	2	さん	山
4	じ - さん	治山	1	じ	1	さん	山	45	ごだい - さん	五台山	3	い	2	さん	山
5	ばさん	馬山	1	ば	1	さん	山	46	くじゅう - さん	九重山	3	う	2	さん	山
6	ぼ - さん	暮山	1	ぼ	1	さん	山	47	くじゅう - さん	久住山	3	う	2	さん	山
7	しぎ - さん	信貴山	2	ぎ	1	さん	山	48	にじょう - さん	二上山	3	う	2	さん	山
8	かまくら - にごさん	鎌倉尼五山	2	ご	1	さん	山	49	いずな - さん	飯綱山・飯縄山	3	な	2	さん	山
9	しゅご - さん	守護山	2	ご	1	さん	山	50	ひがね - さん	日金山	3	ね	2	さん	山
10	ふじ - さん	富士山・不尽山・不二山	2	じ	1	さん	山	51	ゆどの - さん	湯殿山	3	の	2	さん	山
11	ふだ - さん	普陀山	2	だ	1	さん	山	52	かぐら - さん	神楽山・神楽山	3	ら	2	さん	山
12	がび - さん	峨眉山・峨嵋山	2	び	1	さん	山	53	はぐろ - さん	羽黒山	3	ろ	2	さん	山
13	そぼ - さん	祖母山	2	ぼ	1	さん	山	54	あいづ - ぼんだいさん	会津磐梯山	4	い	2	さん	山
14	あかぎ - さん	赤城山	3	ぎ	1	さん	山	55	てんだい - さん	天台山	4	い	2	さん	山
15	あまぎ - さん	天城山	3	ぎ	1	さん	山	56	ぼんだい - さん	磐梯山	4	い	2	さん	山
16	きゅうぎ - さん	九疑山	3	ぎ	1	さん	山	57	せんじょう - さん	船上山	4	う	2	さん	山
17	つるぎ - さん	剣山	3	ぎ	1	さん	山	58	そうじょう - さん	層城山	4	う	2	さん	山
18	みょうぎ - さん	妙義山	3	ぎ	1	さん	山	59	ベスビオ - さん	一山	4	オ	2	さん	山
19	かまくら - あまごさん	鎌倉尼五山	3	ご	1	さん	山	60	おうばく - さん	黄檗山	4	く	2	さん	山
20	きょうと - あまごさん	京都尼五山	3	ご	1	さん	山	61	ぐんぎよく - さん	群玉山	4	く	2	さん	山
21	だいご - さん	醍醐山	3	ご	1	さん	山	62	せつがく - さん	雪岳山	4	く	2	さん	山
22	まんじゅ - さん	万寿山	3	じゅ	1	さん	山	63	しりべし - さん	後方羊蹄山	4	し	2	さん	山
23	ぞうず - さん	象頭山	3	ず	1	さん	山	64	たにぐみ - さん	谷汲山	4	み	2	さん	山
24	たかだ - さん	高田山	3	だ	1	さん	山	65	えいげん - さん	英彦山	4	ん	2	さん	山
25	いいで - さん	飯豊山	3	で	1	さん	山	66	アウサンガテ - さん	一山	6	テ	2	さん	山
26	つくば - さん	筑波山	3	ば	1	さん	山	67	だいひ - さん	大悲山	3	ひ	3	さん	山
27	なえば - さん	苗場山	3	ば	1	さん	山	68	がらん - さん	賀蘭山	3	ん	3	さん	山
28	きんぶ - さん	金峰山	3	ぶ	1	さん	山	69	とがのお - さん	梅尾山	4	お	3	さん	山
29	みのぶ - さん	身延山	3	ぶ	1	さん	山	70	ふだらく - さん	補陀落山	4	く	3	さん	山
30	さんべ - さん	三瓶山	3	べ	1	さん	山	71	ゆづるは - さん	論鶴羽山	4	は	3	さん	山
31	かざらぎ - さん	風猛山	4	ぎ	1	さん	山	72	あずまや - さん	四阿山	4	や	3	さん	山
32	かつらぎ - さん	葛城山	4	ぎ	1	さん	山	73	ずいりゅう - さん	瑞龍山	4	う	4	さん	山
33	オリーブ - さん	一山	4	ブ	1	さん	山	74	じゅうこく - さん	汁谷山	4	く	4	さん	山
34	はっこうだ - さん	八甲田山	5	だ	1	さん	山	75	べんいち - さん	ハ一山	4	ち	4	さん	山
35	じゅう - さん	住山	2	う	2	さん	山	76	ゴサイントン - さん	一山	6	ン	6	さん	山
36	ぼう - さん	房山	2	う	2	さん	山	77	い - さん	山	1	い		さん	山
37	あたご - びやくさん	愛宕白山	2	く	2	さん	山	78	え - さん	恵山	1	え		さん	山
38	いずも - びやくさん	出雲若山	2	く	2	さん	山	79	き - さん	婦山	1	き		さん	山
39	おんな - だくさん	女沢山	2	く	2	さん	山	80	ち - さん	治山	1	ち		さん	山
40	こ - だくさん	小沢山	2	く	2	さん	山	81	の - さん	野散・野山	1	の		さん	山
41	わた - だくさん	綿沢山	2	く	2	さん	山	82	や - さん	射山	1	や		さん	山

	A	B	C	D	E	F	G		A	B	C	D	E	F	G
83	の・ゆさん	野遊山	1	ゆ		さん	山	138	ぬすみ・ゆさん	盗遊山	3	ゆ		さん	山
84	はなみ・ゆさん	花見遊山	1	ゆ		さん	山	139	かんら・さん	漢拏山	3	ら		さん	山
85	ふな・ゆさん	船遊山	1	ゆ		さん	山	140	こうら・さん	高良山	3	ら		さん	山
86	かい・さん	開山	2	い		さん	山	141	ふたら・さん	二荒山	3	ら		さん	山
87	かんじょう・かいさん	勧請開山	2	い		さん	山	142	いなり・さん	稲荷山	3	り		さん	山
88	ご・かいさん	御開山	2	い		さん	山	143	うそり・さん	宇曾利山	3	り		さん	山
89	すい・さん	水山	2	い		さん	山	144	スメル・さん	一山	3	ル		さん	山
90	ユイ・さん	玉山	2	イ		さん	山	145	きんけい・さん	金鷄山	4	い		さん	山
91	かくぶん・ゆうさん	郭文遊山	2	う		さん	山	146	せいさい・さん	西塞山	4	い		さん	山
92	とう・さん	東山	2	う		さん	山	147	そがかいけいさん	曾我會稽山	4	い		さん	山
93	あたご・はくさん	愛宕白山	2	く		さん	山	148	ちょうかい・さん	鳥海山	4	い		さん	山
94	おつけ・たくさん	御汁沢山	2	く		さん	山	149	てっかい・さん	鉄拐山	4	い		さん	山
95	しる・たくさん	汁沢山	2	く		さん	山	150	なりあい・さん	成相山	4	い		さん	山
96	そとべ・たくさん	外辺沢山	2	く		さん	山	151	なんたい・さん	男体山	4	い		さん	山
97	たく・さん	沢山	2	く		さん	山	152	はっかい・さん	八海山	4	い		さん	山
98	なむ・はくさん	南無白山	2	く		さん	山	153	ほうらい・さん	蓬山	4	い		さん	山
99	はく・さん	白山	2	く		さん	山	154	きんぼう・さん	金峰山	4	う		さん	山
100	はく・さん	博山	2	く		さん	山	155	しょうりょう・さん	清涼山	4	う		さん	山
101	ゆみや・はくさん	弓矢白山	2	く		さん	山	156	たいこう・さん	太行山	4	う		さん	山
102	ひこ・さん	英彦山・彦山	2	こ		さん	山	157	にっこう・さん	日光山	4	う		さん	山
103	あそ・さん	阿蘇山	2	そ		さん	山	158	はくとう・さん	白頭山	4	う		さん	山
104	なち・さん	那智山	2	ち		さん	山	159	まきのお・さん	横尾山	4	お		さん	山
105	いっ・さん	一山	2	っ		さん	山	160	わしのお・さん	鷲尾山	4	お		さん	山
106	おっ・さん	越山	2	っ		さん	山	161	きんぼく・さん	金北山	4	く		さん	山
107	こっ・さん	骨山	2	っ		さん	山	162	ちょうはく・さん	長白山	4	く		さん	山
108	しゅっ・さん	出山	2	っ		さん	山	163	りゅうこく・さん	龍谷山	4	く		さん	山
109	えな・さん	恵那山	2	な		さん	山	164	おんたけ・さん	御嶽山	4	け		さん	山
110	かや・さん	伽山	2	や		さん	山	165	カイラス・さん	一山	4	ス		さん	山
111	こや・さん	姑射山	2	や		さん	山	166	アララト・さん	一山	4	ト		さん	山
112	まや・さん	摩耶山	2	や		さん	山	167	しるたに・さん	汁谷山	4	に		さん	山
113	ゆや・さん	熊野山	2	や		さん	山	168	おおみね・さん	大峰山・大峯山	4	ね		さん	山
114	ひら・さん	比良山	2	ら		さん	山	169	しらみね・さん	白峰山	4	ね		さん	山
115	あり・さん	阿里山	2	り		さん	山	170	はやちね・さん	早池峰山	4	ね		さん	山
116	うるさん	蔚山	2	る		さん	山	171	みつみね・さん	三峰山	4	ね		さん	山
117	こけい・さん	虎渓山	3	い		さん	山	172	マーカム・さん	一山	4	ム		さん	山
118	シナイ・さん	一山	3	イ		さん	山	173	カルメル・さん	一山	4	ル		さん	山
119	にれい・さん	爾靈山	3	い		さん	山	174	しょうてん・さん	聖天山	4	ん		さん	山
120	かちょう・さん	華頂山	3	う		さん	山	175	コトバクシ・さん	一山	5	シ		さん	山
121	ヌブツエ・さん	一山	3	エ		さん	山	176	カメルーン・さん	一山	5	ン		さん	山
122	アレオ・さん	一山	3	オ		さん	山	177	マッキンリー・さん	一山	6	ー		さん	山
123	たかお・さん	高尾山	3	お		さん	山	178	マッキンレー・さん	一山	6	ー		さん	山
124	たかお・さん	高雄山・高尾山・鷹尾山	3	お		さん	山	179	ボボカテベトル・さん	一山	7	ル		さん	山
125	いわき・さん	岩木山	3	き		さん	山	180	きょうと・ごさん	京都五山	1	ご	1	さん	普
126	クック・さん	一山	3	ク		さん	山	181	ご・さん	五山	1	ご	1	さん	普
127	みたけ・さん	御岳山・御嶽山	3	け		さん	山	182	に・だくさん	荷沢山	2	く	2	さん	普
128	えひこ・さん	英彦山	3	こ		さん	山	183	ひげ・だくさん	髭沢山	2	く	2	さん	普
129	いわて・さん	岩手山	3	て		さん	山	184	みず・だくさん	水沢山	2	く	2	さん	普
130	エトナ・さん	一山	3	ナ		さん	山	185	もり・だくさん	盛沢山	2	く	2	さん	普
131	はるな・さん	榛名山	3	な		さん	山	186	もく・かさん	木俣山	1	か		さん	普
132	しらね・さん	白根山	3	ね		さん	山	187	しゅうちゅう・とさん	集中登山	1	と		さん	普
133	あまの・さん	天野山	3	の		さん	山	188	はま・ゆさん	浜遊山	1	ゆ		さん	普
134	くまの・さん	熊野山	3	の		さん	山	189	ものみ・ゆさん	物見遊山	1	ゆ		さん	普
135	きんぶ・さん	金峰山	3	ぶ		さん	山	190	ゆ・さん	遊山・游山	1	ゆ		さん	普
136	こうや・さん	高野山	3	や		さん	山	191	ちゅうこう・かいさん	中興開山	2	い		さん	普
137	ろうや・さん	琅邪山・瑯邪山・瑯山	3	や		さん	山	192	ひのした・かいさん	日下開山	2	い		さん	普
								193	ぎょう・さん	仰山	2	う		さん	普
								194	き・だくさん	気沢山	2	く		さん	普

	A	B	C	D	E	F	G		A	B	C	D	E	F	G
195	こ - だくさん	子沢山	2	く		さん	普	251	あんざん	鞍山	2	ん		ざん	山
196	とく - さん	禿山	2	く		さん	普	252	あん - ざん	案山	2	ん		ざん	山
197	ひと - だくさん	人沢山	2	く		さん	普	253	かんざん	漢山	2	ん		ざん	山
198	ふにゅう - さん	不入山	3	う		さん	普	254	かん - ざん	桓山	2	ん		ざん	山
199	もっ - かさん	木仮山	3	か		さん	普	255	かん - ざん	関山	2	ん		ざん	山
200	がざん	牙山	1	が	1	ざん	山	256	がん - ざん	雁山	2	ん		ざん	山
201	ぎざん	義山	1	ぎ	1	ざん	山	257	きん - ざん	徑山	2	ん		ざん	山
202	ぎょざん	魚山	1	ぎょ	1	ざん	山	258	くん - ざん	君山	2	ん		ざん	山
203	じゅ - ざん	寿山	1	じゅ	1	ざん	山	259	けん - ざん	山	2	ん		ざん	山
204	ばじ - ざん	馬耳山	2	じ	1	ざん	山	260	こん - ざん	崑山	2	ん		ざん	山
205	ぎゅう - ざん	牛山	2	う	2	ざん	山	261	しょうわ - しんざん	昭和新山	2	ん		ざん	山
206	ほう - ざん	茅山	2	う	2	ざん	山	262	てん - ざん	天山	2	ん		ざん	山
207	がく - ざん	嶽山	2	く	2	ざん	山	263	らん - ざん	嵐山	2	ん		ざん	山
208	げんざん	元山	2	ん	2	ざん	山	264	しめい - ざん	四明山	3	い		ざん	山
209	だん - ざん	談山	2	ん	2	ざん	山	265	ひえい - ざん	比叡山	3	い		ざん	山
210	どじょう - ざん	土常山	3	う	2	ざん	山	266	かしょう - ざん	迦葉山	3	う		ざん	山
211	えんぜん - ざん	燕然山	4	ん	2	ざん	山	267	かのう - ざん	鹿野山	3	う		ざん	山
212	ごしょう - ざん	後勝山	3	う	3	ざん	山	268	くのう - ざん	久能山	3	う		ざん	山
213	きおう - ざん	蔵王山	3	う	3	ざん	山	269	しゅよう - ざん	首陽山	3	う		ざん	山
214	おおだいがはら - ざん	大台ヶ原山	7	ら	3	ざん	山	270	にこう - ざん	二荒山	3	う		ざん	山
215	どうはく - ざん	桐柏山	4	く	4	ざん	山	271	わしう - ざん	鷺羽山	3	う		ざん	山
216	ぎょくかん - ざん	玉函山	4	ん	4	ざん	山	272	わしゅう - ざん	鷺羽山	3	う		ざん	山
217	か - ざん	華山	1	か		ざん	山	273	みのお - ざん	箕面山	3	お		ざん	山
218	キラウエア - かざん	一火山	1	か		ざん	山	274	りょうこざん	菱古山	3	こ		ざん	山
219	きんかざん	金華山	1	か		ざん	山	275	えんし - ざん	燕支山・胭脂山	3	し		ざん	山
220	が - ざん	峨山・鵝山	1	が		ざん	山	276	りょうしゅ - ざん	龍首山	3	ゅ		ざん	山
221	き - ざん	岐山	1	き		ざん	山	277	おそれ - ざん	恐山	3	れ		ざん	山
222	き - ざん	祁山	1	き		ざん	山	278	しうん - ざん	紫雲山	3	ん		ざん	山
223	き - ざん	箕山	1	き		ざん	山	279	しめん - ざん	四面山	3	ん		ざん	山
224	そ - ざん	楚山	1	そ		ざん	山	280	かいけい - ざん	会稽山	4	い		ざん	山
225	は - ざん	巴山	1	は		ざん	山	281	けいてい - ざん	敬亭山	4	い		ざん	山
226	ふざん	釜山	1	ふ		ざん	山	282	ほうえい - ざん	宝永山	4	い		ざん	山
227	ふ - ざん	巫山	1	ふ		ざん	山	283	ようてい - ざん	羊蹄山	4	い		ざん	山
228	り - ざん	驪山	1	り		ざん	山	284	ありおう - ざん	有王山	4	う		ざん	山
229	ろ - ざん	廬山	1	ろ		ざん	山	285	いくおう - ざん	育王山	4	う		ざん	山
230	えい - ざん	叡山	2	い		ざん	山	286	おうりゅう - ざん	黄龍山	4	う		ざん	山
231	がいがざん	山	2	い		ざん	山	287	かくおう - ざん	覚王山	4	う		ざん	山
232	けい - ざん	荊山	2	い		ざん	山	288	きんこうざん	錦光山	4	う		ざん	山
233	たい - ざん	台山	2	い		ざん	山	289	きんぼう - ざん	金峰山	4	う		ざん	山
234	たい - ざん	泰山・岱山・ 太山	2	い		ざん	山	290	きんりゅう - ざん	金龍山	4	う		ざん	山
235	とう - えいざん	東叡山	2	い		ざん	山	291	こうしょう - ざん	高盛山・高勝山	4	う		ざん	山
236	こう - ざん	香山	2	う		ざん	山	292	こうどう - ざん	山	4	う		ざん	山
237	こう - ざん	山	2	う		ざん	山	293	こうみょう - ざん	光明山	4	う		ざん	山
238	こう - ざん	衡山	2	う		ざん	山	294	こんごう - ざん	金剛山	4	う		ざん	山
239	しょう - ざん	商山	2	う		ざん	山	295	せいこう - ざん	井岡山	4	う		ざん	山
240	しょう - ざん	湘山	2	う		ざん	山	296	せいりょう - ざん	清涼山	4	う		ざん	山
241	せんしょう - こうざん	先照高山	2	う		ざん	山	297	せきじょう - ざん	赤城山	4	う		ざん	山
242	ちゅう - ざん	中山	2	う		ざん	山	298	ぜんしょう - ざん	前勝山	4	う		ざん	山
243	とう - ざん	刀山	2	う		ざん	山	299	ちゅうじょう - ざん	中条山	4	う		ざん	山
244	りゅう - ざん	龍山	2	う		ざん	山	300	てんぼう - ざん	天保山	4	う		ざん	山
245	ろう - ざん	隴山	2	う		ざん	山	301	はっこう - ざん	八公山	4	う		ざん	山
246	れき - ざん	歴山	2	き		ざん	山	302	ほうおう - ざん	鳳凰山	4	う		ざん	山
247	しよしゃ - ざん	書写山	2	しゃ		ざん	山	303	ほくほう - ざん	北山	4	う		ざん	山
248	うす - ざん	有珠山	2	す		ざん	山	304	みょうこう - ざん	妙高山	4	う		ざん	山
249	えつ - ざん	越山	2	つ		ざん	山	305	ろっこう - ざん	六甲山	4	う		ざん	山
250	らふ - ざん	羅浮山	2	ふ		ざん	山	306	かつせき - ざん	碓石山	4	き		ざん	山
								307	けいそく - ざん	鷄足山・足山	4	く		ざん	山

	A	B	C	D	E	F	G
308	てんもく - ざん	天目山	4	く		ざん	山
309	しんせつ - ざん	深雪山	4	つ		ざん	山
310	たいしつ - ざん	太室山	4	つ		ざん	山
311	たいせつ - ざん	大雪山	4	つ		ざん	山
312	かんらん - ざん	橄欖山	4	ん		ざん	山
313	けんもん - ざん	剣門山	4	ん		ざん	山
314	こんろん - ざん	崑崙山	4	ん		ざん	山
315	しちめん - ざん	七面山	4	ん		ざん	山
316	しゅうなん - ざん	終南山	4	ん		ざん	山
317	せきもん - ざん	石門山	4	ん		ざん	山
318	てんもん - ざん	天門山	4	ん		ざん	山
319	へいてん - ざん	平顛山	4	ん		ざん	山
320	まんねん - ざん	万年山	4	ん		ざん	山
321	みょうけん - ざん	妙見山	4	ん		ざん	山
322	あいこう - ざん	阿育王山	5	う		ざん	山
323	おそらん - ざん	恐羅漢山	5	ん		ざん	山
324	がざん	峨山	1	が	1	ざん	人
325	はしもと - がざん	橋本峨山	1	が	1	ざん	人
326	ござん	吾山	1	ご	1	ざん	人
327	かわかみ - びざん	川上眉山	1	び	1	ざん	人
328	びざん	眉山	1	び	1	ざん	人
329	きくち - ござん	菊池五山	3	ご	1	ざん	人
330	たけち - ずいざん	武市瑞山	2	い	2	ざん	人
331	いしかわ - じょうざん	石川丈山	2	う	2	ざん	人
332	ゆあさ - じょうざん	湯浅常山	2	う	2	ざん	人
333	あきやま - ぎょくざん	秋山玉山	2	く	2	ざん	人
334	たちばな - じつざん	立花実山	2	つ	2	ざん	人
335	くまざわ - ばんざん	熊沢蕃山	2	ん	2	ざん	人
336	たに - じんざん	谷秦山	2	ん	2	ざん	人
337	りきどうざん	力道山	4	う	2	ざん	人
338	かざん	峯山	1	か		ざん	人
339	こふじ - かざん	古富士火山	1	か		ざん	人
340	わたなべ - かざん	渡辺峯山	1	か		ざん	人
341	かわむら - きざん	川村驥山	1	き		ざん	人
342	おの - ござん	小野湖山	1	こ		ざん	人
343	さたけ - しょうざん	佐竹曙山	1	しよ		ざん	人
344	かん - ちゃざん	菅茶山	1	ちゃ		ざん	人
345	なかお - とざん	中尾都山	1	と		ざん	人
346	はやし - らざん	林羅山	1	ら		ざん	人
347	いちりゅうさい - ていざん	一龍斎貞山	2	い		ざん	人
348	くろだ - すいざん	畔田翠山	2	い		ざん	人
349	こにし - らいざん	小西来山	2	い		ざん	人
350	なかざと - かいざん	中里介山	2	い		ざん	人
351	ひお - けいざん	日尾荊山	2	い		ざん	人
352	ほり - けいざん	堀景山	2	い		ざん	人
353	まつうら - せいざん	松浦静山	2	い		ざん	人
354	まつら - せいざん	松浦静山	2	い		ざん	人
355	やまじ - あいざん	山路愛山	2	い		ざん	人
356	うえすぎ - ようざん	上杉鷹山	2	う		ざん	人
357	うの - とうざん	宇野東山	2	う		ざん	人
358	さくま - しょうざん	佐久間象山	2	う		ざん	人
359	さんとう - きょうざん	山東京山	2	う		ざん	人
360	しょうざん	嘯山	2	う		ざん	人
361	だいどうじ - ゆうざん	大道寺友山	2	う		ざん	人
362	みやがわ - こうざん	宮川香山	2	う		ざん	人
363	みやけ - しょうざん	三宅嘯山	2	う		ざん	人

	A	B	C	D	E	F	G
364	りく - しょうざん	陸象山	2	う		ざん	人
365	あん - ろくざん	安祿山	2	く		ざん	人
366	えん - しゃくざん	閻錫山	2	く		ざん	人
367	かんだ - はくざん	神田伯山	2	く		ざん	人
368	とだ - きょくざん	戸田旭山	2	く		ざん	人
369	なかい - ちくざん	中井竹山	2	く		ざん	人
370	はた - かくざん	畑鶴山	2	く		ざん	人
371	やまもと - ほうざん	山本北山	2	く		ざん	人
372	すわ - そざん	諏訪蘇山	2	そ		ざん	人
373	きたじま - せつざん	北島雪山	2	つ		ざん	人
374	しばの - りつざん	柴野栗山	2	つ		ざん	人
375	だいや - てつざん	大冶鉄山	2	つ		ざん	人
376	いしばし - たんざん	石橋湛山	2	ん		ざん	人
377	いりや - けんざん	入谷乾山	2	ん		ざん	人
378	おおぬま - ちんざん	大沼枕山	2	ん		ざん	人
379	おかじま - かんざん	岡島冠山	2	ん		ざん	人
380	おがた - けんざん	尾形乾山	2	ん		ざん	人
381	おの - らんざん	小野蘭山	2	ん		ざん	人
382	かたやま - けんざん	片山兼山	2	ん		ざん	人
383	けんざん	乾山	2	ん		ざん	人
384	ごとう - こんざん	後藤艮山	2	ん		ざん	人
385	さかもと - てんざん	坂本天山	2	ん		ざん	人
386	さの - けんざん	佐野乾山	2	ん		ざん	人
387	しもむら - かんざん	下村観山	2	ん		ざん	人
388	すずき - しゅんざん	鈴木春山	2	ん		ざん	人
389	せんざん	沾山	2	ん		ざん	人
390	たかい - らんざん	高井蘭山	2	ん		ざん	人
391	つばき - ちんざん	椿椿山	2	ん		ざん	人
392	なかえ - みんざん	中江岷山	2	ん		ざん	人
393	ならばやし - ちんざん	榊林鎮山	2	ん		ざん	人
394	のなか - けんざん	野中兼山	2	ん		ざん	人
395	ば - せんざん	馬占山	2	ん		ざん	人
396	はら - たんざん	原坦山	2	ん		ざん	人
397	まつだいら - くんざん	松平君山	2	ん		ざん	人
398	まつみや - かんざん	松宮観山	2	ん		ざん	人
399	ごとう - しざん	後藤芝山	3	し		ざん	人
400	いたや - はざん	板谷波山	3	は		ざん	人
401	げ - ざん	下山	1	げ	1	ざん	普
402	あしお - どうざん	足尾銅山	2	う	2	ざん	普
403	ごう - ざん	籠山	2	う	2	ざん	普
404	じゅう - ざん	重山	2	う	2	ざん	普
405	じょう - ざん	浄山	2	う	2	ざん	普
406	じょう - ざん	常山	2	う	2	ざん	普
407	じょう - ざん	常山	2	う	2	ざん	普
408	じょう - ざん	畳山	2	う	2	ざん	普
409	がく - ざん	学山	2	く	2	ざん	普
410	ぎょく - ざん	玉山	2	く	2	ざん	普
411	ばつ - ざん	抜山	2	つ	2	ざん	普
412	いわみ - ぎんざん	石見銀山	2	ん	2	ざん	普
413	いんない - ぎんざん	院内銀山	2	ん	2	ざん	普
414	ぎん - ざん	銀山	2	ん	2	ざん	普
415	ぐん - ざん	群山	2	ん	2	ざん	普
416	じん - ざん	仁山	2	ん	2	ざん	普
417	ぜん - ざん	全山	2	ん	2	ざん	普
418	ぜん - ざん	前山	2	ん	2	ざん	普
419	ばん - ざん	万山	2	ん	2	ざん	普
420	がいりん - ざん	外輪山	4	ん	4	ざん	普

字音形態素「サン(山)」を後部要素とする派生語の連濁について (鈴木 豊)

	A	B	C	D	E	F	G		A	B	C	D	E	F	G
421	えんすい - かざん	円錐火山	1	か		ざん	普	478	ばんぼく - せいざん	満目青山	2	い		ざん	普
422	かいじょう - かざん	塊状火山	1	か		ざん	普	479	へい - ざん	閉山	2	い		ざん	普
423	かいちゅう - かざん	海中火山	1	か		ざん	普	480	まんもく - せいざん	満目青山	2	い		ざん	普
424	かいてい - かざん	海底火山	1	か		ざん	普	481	めい - ざん	名山	2	い		ざん	普
425	か - ざん	火山	1	か		ざん	普	482	らいざん	来山	2	い		ざん	普
426	か - ざん	仮山	1	か		ざん	普	483	れい - ざん	霊山	2	い		ざん	普
427	か - ざん	花山	1	か		ざん	普	484	あけのべ - こうざん	明延鉦山	2	う		ざん	普
428	か - ざん	河山	1	か		ざん	普	485	あしお - こうざん	足尾鉦山	2	う		ざん	普
429	か - ざん	家山	1	か		ざん	普	486	いくの - こうざん	生野鉦山	2	う		ざん	普
430	かつ - かざん	活火山	1	か		ざん	普	487	おさりざわ - こうざん	尾去沢鉦山	2	う		ざん	普
431	きせい - かざん	寄生火山	1	か		ざん	普	488	かまいし - こうざん	釜石鉦山	2	う		ざん	普
432	きゅう - かざん	休火山	1	か		ざん	普	489	かみおか - こうざん	神岡鉦山	2	う		ざん	普
433	きゅうじょう - かざん	臼状火山	1	か		ざん	普	490	かわやま - こうざん	河山鉦山	2	う		ざん	普
434	きゅうそく - かざん	休息火山	1	か		ざん	普	491	きゅう - ざん	丘山・邱山	2	う		ざん	普
435	し - かざん	死火山	1	か		ざん	普	492	きゅう - ざん	旧山	2	う		ざん	普
436	しょうじょう - かざん	鐘状火山	1	か		ざん	普	493	きょう - ざん	郷山	2	う		ざん	普
437	すいじょう - かざん	錐状火山	1	か		ざん	普	494	くう - ざん	空山	2	う		ざん	普
438	すいみん - かざん	睡眠火山	1	か		ざん	普	495	くしきの - こうざん	串木野鉦山	2	う		ざん	普
439	せいそう - かざん	成層火山	1	か		ざん	普	496	ぐんま - こうざん	群馬鉦山	2	う		ざん	普
440	そうじょう - かざん	層状火山	1	か		ざん	普	497	こう - ざん	好山	2	う		ざん	普
441	そく - かざん	側火山	1	か		ざん	普	498	こう - ざん	江山	2	う		ざん	普
442	そく - かざん	熄火山	1	か		ざん	普	499	こう - ざん	坑山	2	う		ざん	普
443	たてじょう - かざん	楯状火山	1	か		ざん	普	500	こう - ざん	空山	2	う		ざん	普
444	たんしき - かざん	単式火山	1	か		ざん	普	501	こう - ざん	後山	2	う		ざん	普
445	たんせい - かざん	単成火山	1	か		ざん	普	502	こう - ざん	恒山	2	う		ざん	普
446	でい - かざん	泥火山	1	か		ざん	普	503	こう - ざん	荒山	2	う		ざん	普
447	にじゅうしき - かざん	二重式火山	1	か		ざん	普	504	こう - ざん	高山	2	う		ざん	普
448	ふうりんかざん	風林火山	1	か		ざん	普	505	こう - ざん	鉦山・礦山	2	う		ざん	普
449	ふくごう - かざん	複合火山	1	か		ざん	普	506	こう - ざん	闔山	2	う		ざん	普
450	ふくしき - かざん	複式火山	1	か		ざん	普	507	こうのまい - こうざん	鴻之舞鉦山	2	う		ざん	普
451	ふくせい - かざん	複成火山	1	か		ざん	普	508	こさか - こうざん	小坂鉦山	2	う		ざん	普
452	き - ざん	奇山	1	き		ざん	普	509	さかのせき - こうざん	佐賀関鉦山	2	う		ざん	普
453	こ - ざん	孤山	1	こ		ざん	普	510	さど - こうざん	佐渡鉦山	2	う		ざん	普
454	こ - ざん	故山	1	こ		ざん	普	511	しち - こうざん	七高山	2	う		ざん	普
455	こ - ざん	湖山	1	こ		ざん	普	512	しゅう - ざん	秋山	2	う		ざん	普
456	し - ざん	四山	1	し		ざん	普	513	しょう - ざん	小山	2	う		ざん	普
457	し - ざん	屍山	1	し		ざん	普	514	しょう - ざん	松山	2	う		ざん	普
458	し - ざん	茨山	1	し		ざん	普	515	すう - ざん	崇山	2	う		ざん	普
459	し - ざん	雌山	1	し		ざん	普	516	すう - ざん	嵩山	2	う		ざん	普
460	しゃ - ざん	射山	1	しゃ		ざん	普	517	せんり - こうざん	千里江山	2	う		ざん	普
461	しゃ - ざん	楮山	1	しゃ		ざん	普	518	そう - ざん	総山・惣山	2	う		ざん	普
462	しょ - ざん	諸山	1	しょ		ざん	普	519	そう - ざん	霜山	2	う		ざん	普
463	た - ざん	他山	1	た		ざん	普	520	たくじょう - ひょうざん	卓状氷山	2	う		ざん	普
464	と - ざん	登山	1	と		ざん	普	521	ちょう - ざん	長山	2	う		ざん	普
465	はつ - とざん	初登山	1	と		ざん	普	522	ちょう - ざん	重山	2	う		ざん	普
466	ほうしゃじょう - とざん	放射状登山	1	と		ざん	普	523	とう - ざん	当山	2	う		ざん	普
467	きよ - ざん	居山	1	よ		ざん	普	524	とう - ざん	東山	2	う		ざん	普
468	り - ざん	離山	1	り		ざん	普	525	とう - ざん	唐山	2	う		ざん	普
469	かい - ざん	海山	2	い		ざん	普	526	とう - ざん	登山	2	う		ざん	普
470	けい - ざん	溪山・谿山	2	い		ざん	普	527	どう - ざん	銅山	2	う		ざん	普
471	せい - ざん	西山	2	い		ざん	普	528	にゅう - ざん	入山	2	う		ざん	普
472	せい - ざん	青山	2	い		ざん	普	529	ひたち - こうざん	日立鉦山	2	う		ざん	普
473	せい - ざん	晴山	2	い		ざん	普	530	ひょう - ざん	氷山	2	う		ざん	普
474	せい - ざん	棲山	2	い		ざん	普	531	べっし - どうざん	別子銅山	2	う		ざん	普
475	たい - ざん	大山・太山	2	い		ざん	普	532	ほう - ざん	宝山	2	う		ざん	普
476	てい - ざん	低山	2	い		ざん	普	533	ほそくら - こうざん	細倉鉦山	2	う		ざん	普
477	はい - ざん	廃山	2	い		ざん	普	534	まつお - こうざん	松尾鉦山	2	う		ざん	普

	A	B	C	D	E	F	G		A	B	C	D	E	F	G
535	ゆうざん	幽山	2	う		ざん	普	592	やまと - さんざん	大和三山	2	ん		ざん	普
536	ゆう - ざん	雄山	2	う		ざん	普	593	らん - ざん	乱山	2	ん		ざん	普
537	よう - ざん	陽山	2	う		ざん	普	594	れん - ざん	連山	2	ん		ざん	普
538	よう - ざん	遙山	2	う		ざん	普	595	ふんか - ざん	噴火山	3	か		ざん	普
539	へき - ざん	碧山	2	き		ざん	普	596	てんのう - ざん	天王山	4	う		ざん	普
540	こく - ざん	黒山	2	く		ざん	普	597	ないりん - ざん	内輪山	4	ん		ざん	普
541	にく - ざん	肉山	2	く		ざん	普	598	じゅぶ - せん	鷲峰山	2	ぶ	1	せん	山
542	ふく - ざん	複山	2	く		ざん	普	599	しょうげ - せん	障礙山	3	げ	1	せん	山
543	ほく - ざん	北山	2	く		ざん	普	600	じょうざい・りょうじゅせん	常在靈鷲山	3	じゅ	1	せん	山
544	いち - ざん	一山	2	ち		ざん	普	601	からだ - せん	羅陀山・羅多山	3	だ	1	せん	山
545	こつ - ざん	兀山	2	つ		ざん	普	602	きゃらだ - せん	羅陀山	3	だ	1	せん	山
546	しゅつ - ざん	出山	2	つ		ざん	普	603	きんぶ - せん	金峰山	3	ぶ	1	せん	山
547	せつ - ざん	雪山	2	つ		ざん	普	604	りょうじゅ - せん	靈鷲山	3	ゅ	1	せん	山
548	てつ - ざん	鉄山	2	つ		ざん	普	605	じち - せん	持地山	2	ち	2	せん	山
549	いけべ - さんざん	池辺三山	2	ん		ざん	普	606	じじく - せん	持軸山	3	く	2	せん	山
550	いやりみ - きんざん	厭味金山	2	ん		ざん	普	607	こんごう - せん	金剛山	4	う	2	せん	山
551	いやりみ - きんざん	厭味銀山	2	ん		ざん	普	608	せんじょう - せん	船上山	4	う	2	せん	山
552	いん - ざん	陰山	2	ん		ざん	普	609	たんもく - せん	檀木山	4	く	2	せん	山
553	いん - ざん	隠山	2	ん		ざん	普	610	じそう - せん	持双山	3	う	3	せん	山
554	うん - ざん	雲山	2	ん		ざん	普	611	ふだらく - せん	補陀落山	4	く	3	せん	山
555	えんざん	塩山	2	ん		ざん	普	612	ぜんげん - せん	善見山	4	ん	4	せん	山
556	えん - ざん	遠山	2	ん		ざん	普	613	ほうしゅく - しゅせん	彭叔守山	1	しゅ		せん	山
557	かん - ざん	寒山	2	ん		ざん	普	614	み - せん	彌山	1	み		せん	山
558	きん - ざん	近山	2	ん		ざん	普	615	きゅう - せん	求仙・気宇山・九仙	2	う		せん	山
559	きん - ざん	金山	2	ん		ざん	普	616	とう - せん	刀山	2	う		せん	山
560	くまの - さんざん	熊野三山	2	ん		ざん	普	617	だい - せっせん	大雪山	2	っ		せん	山
561	けん - ざん	研山・硯山	2	ん		ざん	普	618	ご - しゅみせん	五須彌山	2	み		せん	山
562	けん - ざん	剣山	2	ん		ざん	普	619	しゅみ - せん	須彌山	2	み		せん	山
563	けん - ざん	険山・嶮山	2	ん		ざん	普	620	すみ - せん	須彌山	2	み		せん	山
564	ご - ほんざん	御本山	2	ん		ざん	普	621	しち - こんせん	七金山	2	ん		せん	山
565	さん - ざん	三山	2	ん		ざん	普	622	しょう - てつせいせん	小鉄開山	3	い		せん	山
566	さん - しんざん	三神山	2	ん		ざん	普	623	てつ - せん	鉄開山	3	い		せん	山
567	しゅん - ざん	春山	2	ん		ざん	普	624	てっち - せん	鉄開山	3	ち		せん	山
568	しゅん - ざん	峻山	2	ん		ざん	普	625	こうずい - せん	香水山・香醉山	4	い		せん	山
569	しょう - ほんざん	小本山	2	ん		ざん	普	626	しゅみろう - せん	須彌樓山	4	う		せん	山
570	じょうもう - さんざん	上毛三山	2	ん		ざん	普	627	しょうりょう - せん	清涼山	4	う		せん	山
571	しん - ざん	神山	2	ん		ざん	普	628	みょうこう - せん	妙高山	4	う		せん	山
572	しん - ざん	晉山・進山	2	ん		ざん	普	629	だんどく - せん	檀特山	4	く		せん	山
573	しん - ざん	真山	2	ん		ざん	普	630	ぎしゃく - せん	香閣嶮山	4	っ		せん	山
574	しん - ざん	深山	2	ん		ざん	普	631	てちい - せん	鉄開山		い		せん	山
575	しん - ざん	新山	2	ん		ざん	普	632	じゅ - せん	住山	1	ゅ	1	せん	普
576	せん - ざん	千山	2	ん		ざん	普	633	じゅ - せん	鷲山	1	ゅ	1	せん	普
577	そう - ほんざん	総本山	2	ん		ざん	普	634	だい - せん	大山	2	い	2	せん	普
578	だい - えんざん	大円山	2	ん		ざん	普	635	じゅう - せん	住山	2	う	2	せん	普
579	だい - ほんざん	大本山	2	ん		ざん	普	636	じしゃく - せん	磁石山	3	く	3	せん	普
580	たん - ざん	丹山	2	ん		ざん	普	637	しょ - せん	諸山	1	よ		せん	普
581	たん - ざん	炭山	2	ん		ざん	普	638	けい - せん	荊山	2	い		せん	普
582	ちゅう - ほんざん	中本山	2	ん		ざん	普	639	とう - せん	東山	2	う		せん	普
583	でわ - さんざん	出羽三山	2	ん		ざん	普	640	とう - せん	登山	2	う		せん	普
584	なん - ざん	南山	2	ん		ざん	普	641	しゅつ - せん	出山	2	っ		せん	普
585	なん - ざん	難山	2	ん		ざん	普	642	せつ - せん	雪山	2	っ		せん	普
586	はん - ざん	半山	2	ん		ざん	普	643	こん - せん	金山	2	ん		せん	普
587	ひん - ざん	貧山	2	ん		ざん	普	644	じょうざい・りょうぜん	常在靈山	2	う		ぜん	山
588	べっかく - ほんざん	別格本山	2	ん		ざん	普	645	りょう - ぜん	靈山	2	う		ぜん	山
589	ほん - ざん	本山	2	ん		ざん	普	646	ひる - ぜん	蒜山	2	る		ぜん	山
590	ほん - ざん	凡山	2	ん		ざん	普	647	こうみょう - ぜん	光明山	4	う		ぜん	山
591	まん - ざん	満山	2	ん		ざん	普								

4.2 音声学的環境

『日国2』に立項されている「サン(山)」「セン(山)」を後部成素とする派生語のうち前部成素末に撥音が位置する語についてその語数を示すと以下のようになる。

表3 前部成素末の撥音と連濁の関係

	「サン(山)」	「セン(山)」	備 考
非連濁	2 / 199	2 / 46	
連濁	106 / 398	0 / 4	
合計	108 / 597	2 / 50	

「サン(山)」の連濁形全398語のうち106語が前部成素末に濁音が位置するという音声的環境にありのに対して非連濁形では全199語のうち前部成素末に濁音をもつのはわずかに2語のみである。「サン(山)」でも他の漢語と同様に撥音後の濁音化(PNV)が高い割合で起こっていることが明らかとなった。他方全398語のうち292語については別な理由で連濁が生じていることになり、これが「サン(山)」の連濁率を66%に押し上げている原因であると考えられる。

次に音声的条件として前部成素末の濁音について検討する。現代語では前部成素末の濁音が非連濁要因と見なされることはない(Lyman(1894))が、上代語では非連濁規則として機能していたと考えられる(石塚龍磨(1801))。表4は『日国2』に収載されている「-サン」「-ザン」を後部成素とする語(合計597語)のうち前部成素末に濁音が位置する語の数を音節別に集計したものである。表5は前部成素末に清音が位置する語について同様に集計したものである。

表4 前部成素末の濁音と連濁との関係(『日国2』)

	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	で	ど	ば	び	ぶ	べ	ぼ	じゅ
サン	0	8	0	0	10	0	2	1	0	0	3	1	0	3	1	3	1	2	1
ザン	4	1	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1

合計 前部成素末濁音+サン 36語 前部成素末濁音+ザン 12語

表5 前部成素末の清音と連濁との関係(『日国2』)

	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	は	ひ	ふ	へ	ほ	ぷ	しゃ
サン	2	2	34	2	2	0	2	1	0	1	0	3	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0
ザン	38	8	18	0	5	0	6	1	0	0	1	1	13	0	5	2	0	3	0	0	0	3

合計 前部成素末清音+サン55語 前部成素末清音+ザン101語

表4・表5を対比してみると前部成素に濁音の位置する語の連濁率は前部成素末に清音が位置する語のそれと比して低く、前部成素末の濁音には非連濁効果があると認められそうである。『日国2』以外の資料でも前部成素末の濁音による非連濁効果が見られるかを検証するため、『日本歴史地名体系』から山名を抜き出し、同様の調査を行った結果をまとめたのが表6である。

表6 前部成素末の清音・濁音と連濁との関係 (『日本歴史地名体系』)

	か行		が行		さ行		ざ行		た行		だ行		は行		ば行		合計	
	非	連	非	連	非	連	非	連	非	連	非	連	非	連	非	連	非	連
あ	5	3	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	6	0	17	3
い	7	3	13	0	3	1	4	0	4	0	0	0	0	1	3	1	34	6
う	16	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	20	2
え	8	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	0	0	0	1	0	15	2
お	5	0	4	0	1	0	2	0	3	4	4	0	0	0	1	0	20	4
計	41	6	18	0	4	2	7	0	13	6	7	0	2	1	14	2	106	17

以下の表7は表4・5を、表8は表6を単純化したものである。

表7 前部成素末濁音と連濁率 (『日国2』)

前部末	－サン	－ザン	備 考
清音	55/156 語 (約 35%)	101/156 語 (約 65%)	
濁音	36/48 語 (75%)	12/48 語 (25%)	下山・馬耳山など

表8 前部成素末濁音と連濁率 (『日本歴史地名体系』)

前部末	－サン	－ザン	備 考
清音	60/75 語 (80%)	15/75 語 (20%)	
濁音	46/48 語 (96%)	2/48 語 (4%)	眉山・九千部山

表7よりも表8で前部末濁音の非連濁効果が強く表れているのは後者が地名のみを収載している資料であるためと考えられる。

4.3 普通名詞と固有名詞

「サン(山)」の連濁率(66%)が一般の字音形態素の連濁率よりも高いのは撥音後の濁音化に加えて形態論的連濁が起きていることによると推測される。では形態論的連濁はどのような条件下で起こっているのだろうか。表2の項目G(語分類 普=普通名詞・山=固有名詞(山名)・人=固有名詞(人名))ごとに連濁/非連濁形を集計したものが表9である

表9 普通名詞・山名・人名別連濁／非連濁語数

		サン	ザン	セン	ゼン	備考
普通名詞		36	197	12	0	- タクサン (沢山) 7 語、- ユサン (遊山) 6 語
固有名詞	山名	163	124	34	4	
	人名	0	77	0	0	

表9から「サン(山)」の連濁に関して以下のことが明らかとなった。

- (1) 固有名詞(人名)は連濁形をとる。
- (2) 普通名詞は連濁形が優勢だが非連濁形も存在する。
- (3) 固有名詞(山名)は非連濁形が優勢だが連濁形も存在する。

普通名詞・固有名詞(山名)・固有名詞(人名)という三分類が「サン(山)」の連濁の決定の第一要因であるのかどうかを検証するために、三分類それぞれにおいて前部成素末に撥音あるいは濁音が位置する語数をまとめ、表10とした。

表10 普通名詞・山名・人名(前部末撥音／濁音／合計)

		サン	ザン	セン	ゼン	備考
普通名詞		0/8/36	55/1/197	1/0/12	0/0/0	
固有名詞	山名	2/27/163	28/5/124	1/7/34	0/0/4	
	人名	0/0/0	23/6/77	0/0/0	0/0/0	
合計		2/35/199	106/12/398	2/7/46	0/0/4	

表10から以下のことが知られる。

- (1) 固有名詞(山名) 非連濁形では前部成素末が撥音である場合、非連濁形が2/163(約1.2%)であるのに対して連濁形は28/124(約22.6%)であり、その比率において後者は前者のおよそ18倍である。このことは前部成素末撥音の連濁効果によると考えられる。
- (2) 固有名詞(山名) 非連濁形では前部成素末が濁音である場合、非連濁形が34/179(約19.0%)であるのに対して連濁形は5/133(約3.8%)であり、その比率において前者は後者のおよそ8倍である。このことは前部成素末濁音の非連濁効果によると考えられる。
- (3) 普通名詞で例外的に非連濁形をとる36語の中には「たくさん(沢山)」を後部成素とするもの13語、「ゆさん(遊山)」を後部成素とする語7語が含まれている。
- (4) 上記の他に、前部成素末の拍が母音である場合、非連濁形が47/163(約28.3%)、連濁形が58/124(約46.8%)であり、前部成素末の母音による連濁効果も確認された。

4.4 前部成素末の濁音

ライマン(1894)には「前部成素中の濁音は連濁に関与しない」(“A sonant in the syllable before has no effect on the nigori (about 150 words with , and about 150 without.)”)旨の記述がある。ライマンは後部成素中の濁音が連濁を妨げるという事実を発見したため、同様の効果が前部成素中の濁音にあるかどうかを検証したのである。その結果『和英語林集成 第2版』中の連濁可能語全体としては前部成素中の濁音の非連濁効果は確認できなかったと結論しているのである。

「サン(山)」の派生語において見られた前部成素末の濁音による非連濁効果は他の語の連濁／非連濁においても見られるのであろうか。こころみに「サン(山)」の派生語総数597語・連濁率66%に比肩しうる和語として「タ(田)」(複合語総数685語・連濁率63%)「キ(木)」(1356語・39%)「カミ(神)」(524語・67%)「クチ(口)」(820語・65%)「サキ(崎)」(152語・4%)「サト(里)」(820語・65%)「タニ(谷)」(119語・26%)「ハラ(原)」(343語・22%)「ヒト(人)」(813語・65%)「ホネ(骨)」(184語・67%)「ハヤシ(林)」(103語・74%)を選び、和語についても同様の効果が見られるのかを検証(『日国2』を検索)したところ以下のような結果となった。前部成素末の濁音としてカ行・ガ行の各拍について非連濁形をとる語数と連濁形をとる語数を対比して示した。なお表中の数字に半濁音形は含まれていない。

表 11 和語名詞に見られる前部成素末濁音の非連濁効果(非連濁形：連濁形)

末語	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	清音合計	濁音合計
田	6:13	4:0	23:15	5:4	5:7	0:0	3:10	4:1	3:6	0:1	40:51	13:6
木	5:8	4:0	4:21	4:0	1:5	0:0	1:24	7:0	1:25	1:0	12:83	16:0
神	0:5	1:0	2:9	0:0	0:1	0:0	1:2	0:0	0:7	0:1	3:24	1:1
口	1:8	0:0	7:31	0:0	0:1	0:0	0:0	0:0	0:1	0:0	8:41	24:2
崎	2:4	22:0	0:5	1:1	0:1	0:0	0:1	0:0	0:2	1:1	2:13	24:2
里	0:1	0:0	0:0	0:0	0:0	0:0	1:1	0:0	0:0	0:2	1:2	0:2
谷	5:0	4:2	4:7	2:1	9:5	0:1	2:4	0:1	2:0	1:0	22:16	7:5
原	8:1	42:0	9:2	17:0	10:7	0:0	5:0	1:0	2:2	1:0	34:12	61:0
人	1:0	3:0	13:0	0:6	2:3	0:0	3:14	0:2	2:6	0:0	21:23	3:8
骨	0:2	0:3	1:8	2:2	0:2	0:0	0:3	0:3	1:5	0:0	2:20	1:8
合計	30:42	80:5	63:98	30:13	27:32	0:1	16:59	12:7	11:54	4:5	114:285	150:34
林*	0:0	0:0	0:0	0:3	0:0	0:0	0:5	0:0	0:3	0:0	0:8	0:3

*「ハヤシ(林)」は前部成素末の清音濁音にかかわらず連濁形をとるので別扱いとした

「ハヤシ(林)」のように複合語に非連濁形をもたないものもあるが、全体として前部成素末の濁音による非連濁効果は顕著である。「田」～「骨」までの10語を後部成素とする複合語のうち、前部成素末が清音の場合は非連濁形145語・連濁形285で連濁率は約66.5%(285/430)であるのに対し、前部成素末が濁音の場合は非連濁形150語・連濁形34語で連濁率は約18.4%

(34/184)となる。このように、一定の複合語数が存在しかつ連濁率が極端に高くも低くもない語の場合前部成素末濁音の非連濁効果は大きいと認められる。

表中の数字は「～ガ原」「～ガ崎」のような例も含んでいるが、「宇治原」「籠原」「門原」「杉原」等の非連濁形「-ハラ」の他にも、表には含まれていない「小田原」「梶原」「菅原」「萩原」などのハ行転呼形も多く、前部成素末濁音の非連濁効果は揺るがないだろう。

4.5 結論

字音形態素「サン(山)」を後部成素とする派生語の連濁／は以下のように決定されていると考えられる。

(1) 普通名詞および固有名詞(人名)は連濁する。普通名詞で例外的に非連濁形をとるのは「山」の意味をもたない「タクサン(沢山)」「ユサン(遊山)」を後部成素とする語とその他(連濁する理由が不明)である。

(2) 固有名詞(山名)は連濁しない。ただし前部成素末が撥音の場合と前部成素末が母音の場合は連濁形をとることが多い。その他に連濁する理由が不明の語が存在する。

連濁率66%前後の和語名詞10語(100以上の複合語が存在するものに限る)の調査からも前部成素末の濁音による非連濁効果が大きいと認められた。

連濁／非連濁が意味の分化に関わる例として「中(チュウ)」と「中(ジュウ)」などがあり、すでにいくつかの先行研究がある(吉田奈保(1994)・小泉昇(1009)などを参照されたい)。前者の意味は場所・時間の範囲の中、後者の意味は場所・時間の範囲全体を表すが、「今日中(キョウジュウ)」「午前中(ゴゼンチュウ)」「午後中(ゴゴジュウ)」などをはじめとして興味深い例が多く存在する。

5. おわりに

字音形態素「山(サン)」を後部成素とする派生語597語の連濁／非連濁について分析した。字音形態素としては非常に高い連濁率を示す「サン(山)」は、普通名詞・固有名詞(人名)が連濁形を、固有名詞(山名)が非連濁形をとるという三種の基準によってその連濁／非連濁が決定されていることが明らかになった。

固有名詞(山名)で例外的に連濁するのは撥音や母音拍ei・ouの後という音声的環境の場合である。また、固有名詞(山名)で前部成素末が濁音の場合は連濁形をとることが抑制されている。平安時代に消滅したと見られる「前部成素末の濁音は連濁を妨げる」という非連濁規則は、「ハラ(原)」「サン(山)」など一部の複合語において現在なお非連濁効果を維持していると考えられる。このことの意味については別稿を期したい。

文献

石塚龍磨 (1801) 『古言清濁考』

小柳昇 (2009) 「『〈時名詞〉 + 中 (チュウ)』と『〈時名詞〉 + 中 (ジュウ)』の使い分け— 日本人は〈トキ〉をどのように捉えて言語化しているか—」『平成 20 年度奨学論文入選作品集』 拓殖大学研究所

鈴木豊 (2012) 「4 拍語を後部成素とする複合語の連濁について」『文京学院大学外国語学部 文京学院短期大学 紀要』 11 文京学院大学総合研究所

吉田奈保 (1994) 「『今週中』と『今日中』— 日本語教育における「中」の用法をめぐって—」『沖縄大学紀要』 11 沖縄大学教養部

Benjamin Smith Lyman (1894) “The Change from Surd to Sonant in Japanese Compounds” *Oriental studies; a selection of the papers read before the Oriental club in Philadelphia 1888-1894* Oriental Club of Philadelphia

(2012.10.24 受稿, 2013.1.10 受理)